

カーネーションのシロイチモジヨトウの発生について

1 発生の経緯

今年 9 月、県内の施設栽培のカーネーションにおいて、葉や芽基部への鱗翅目幼虫による食害が確認された。現地ほ場から幼虫を採集、飼育し、羽化した成虫を横浜植物防疫所へ同定依頼したところ、シロイチモジヨトウ *Spodoptera exigua* Hübner であることが確認された。

本種は西日本を中心にネギ等の野菜類や花き類で被害が報告されているが、本県における農作物での被害確認は初めてである。

今のところ他作物での被害は確認されていないが、広食性の害虫であるため、翌年以降、他地域や他作物においても被害発生に注意が必要である。

2 発生状況

- (1) 発生作物 カーネーション
- (2) 害虫名 シロイチモジヨトウ
Spodoptera exigua Hübner

3 被害と生態

- (1) カーネーションでの被害は、茎葉の食害のほか、心葉や生長点部分の内部からの食害である。また、蕾の中にも食入する。
- (2) 本種は休眠性がないので、県内の露地では越冬できないと推測される。また、長距離移動性の害虫のため、西南暖地から飛来侵入してきた可能性が考えられる。
- (3) 寄生植物はネギ、キャベツ、エンドウ等の野菜類やカーネーション、トルコギキョウ、キク等の花き類で広範囲にわたり、葉、果皮、花蕾、花弁を食害する。
- (4) 卵は直径 5mm 程度の卵塊で産み付けられるが卵数は少ないため、若齢幼虫の集団は小さい。幼虫の体色は緑褐～暗褐色で変化に富み、老熟幼虫は約 30mm まで成長し、ハスモンヨトウに似るが、やや小型である。横からみると白い条が目立つ。
- (5) 成虫は、前翅長 11～12mm で前翅は灰褐色、後翅は白色で半透明。前翅に丸い褐色の紋がある。



図 1 カーネーションに寄生する幼虫



図 2 カーネーションの被害株



図3 シロイチモジヨトウ成虫

4 防除対策

- (1) 施設栽培では開口部に防虫ネットや寒冷紗を張り、成虫の侵入を防ぐ。
- (2) 早期発見につとめ、卵塊やふ化直後の幼虫の集団を見つけたら速やかに取り除く。
- (3) 老齢になるに従って薬剤が効きにくくなるので、ほ場をよく見回り、若齢幼虫のうちに防除する。
- (4) 西南暖地の常発地域では、ピレスロイド系、有機リン系、カーバメート系薬剤及び一部の昆虫生長制御剤(IGR)において効果の低下が確認されている。このため、これらの薬剤を散布した場合は、散布後に必ず防除効果を確認する。

表1 野菜・花き類の主なシロイチモジヨトウ防除薬剤

系統名	薬剤名	ねぎ	キャベツ	野菜類	カーネーション	きく	トルコギキョウ	花き・観葉植物
マクロライド系	アフーム乳剤							
	スピノエース顆粒水和剤							
	ディアナSC							
	アニキ乳剤							
ジアミド系	プレバゾンフロアブル5							
	フェニックス顆粒水和剤							
昆虫生長制御剤(IGR)	マツチ乳剤							
	マトリックフロアブル							
	ロムダンフロアブル							
BT剤	デルフィン顆粒水和剤							
その他	アクセルフロアブル							
	コテツフロアブル							*1
	トルネードフロアブル							
	ハチハチ乳剤							
	プレオフロアブル							

登録内容は平成24年11月7日現在

注1) はシロイチモジヨトウでの登録, はヨトウムシ類での登録。

注2) *1は, 花き・観葉植物(きく, ストックを除く)での登録。

この害虫に関するお問い合わせは下記まで

宮城県病害虫防除所予察班

〒981-0914 仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号（宮城県仙台合同庁舎内）

TEL 022-275-8982, FAX 022-276-0429

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/index2.html>

宮城県農業・園芸総合研究所園芸環境部

〒981-1243 名取市高館川上字東金剛寺1番地

TEL 022-383-8125, FAX 022-383-9907

http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/

宮城県ホームページのリニューアルにより一部アドレスが変更となりました。